

# 第2章

## 第2章 群馬県の現状

### 第1節 人口構造

#### (1) 総人口<sup>注1</sup>

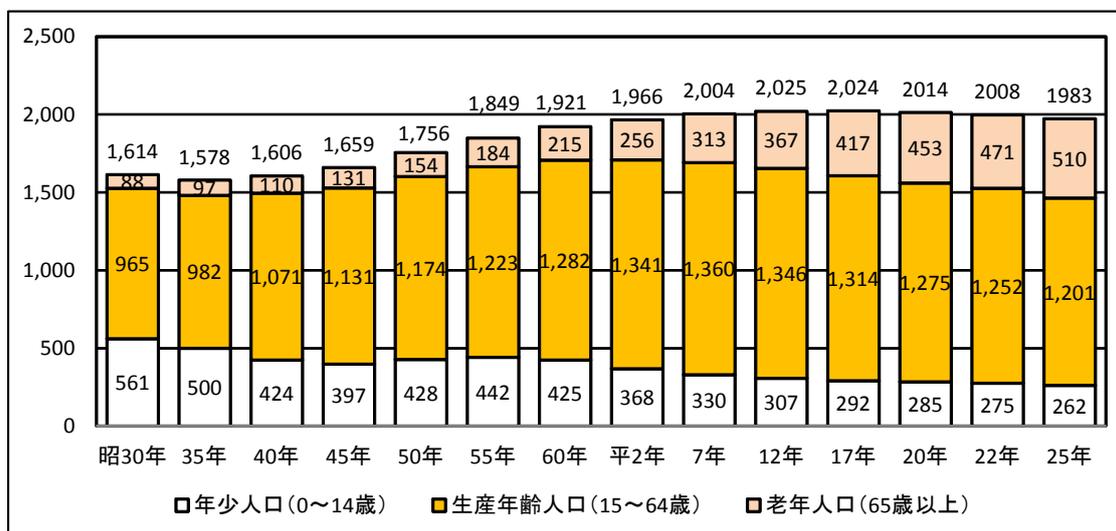
平成25年10月1日現在の本県の総人口は1,983,033人で、平成20年からの5年間に31,043人(1.5%)減少しています。

これを年齢別の構成比で見ると、平成20年と比べて年少人口(0～14歳)が22,806人(8.0%)減少、生産年齢人口(15～64歳)が74,205人(5.8%)減少しているのに対し、老年人口(65歳以上)は56,225人(12.4%)増加しています。

また、総人口に占める年齢3区分別構成割合で見ると、年少人口が13.2%、生産年齢人口が60.5%、老年人口が25.7%となっており、山間部を中心に高齢化が進んでいます。

本県人口の推移

(単位：千人)



[資料] 総務省「国勢調査(昭和30年～平成12年)」、群馬県「群馬県年齢別人口統計調査(平成13～25年)」

年齢3区分別人口の推移

区分	平成20年		平成25年		平成25年－平成20年		
総人口	2,014,076人	100.0%	1,983,033人	100.0%	▲ 31,043人	98.5%	▲ 1.5%
0～14歳	284,729人	14.1%	261,923人	13.2%	▲ 22,806人	92.0%	▲ 8.0%
15歳～64歳	1,274,922人	63.3%	1,200,717人	60.5%	▲ 74,205人	94.2%	▲ 5.8%
65歳以上	453,453人	22.5%	509,678人	25.7%	56,225人	112.4%	12.4%

[資料] 群馬県「群馬県年齢別人口統計調査」

注1 群馬県「群馬県年齢別人口統計調査」(年齢不詳者は計のみに含めた)

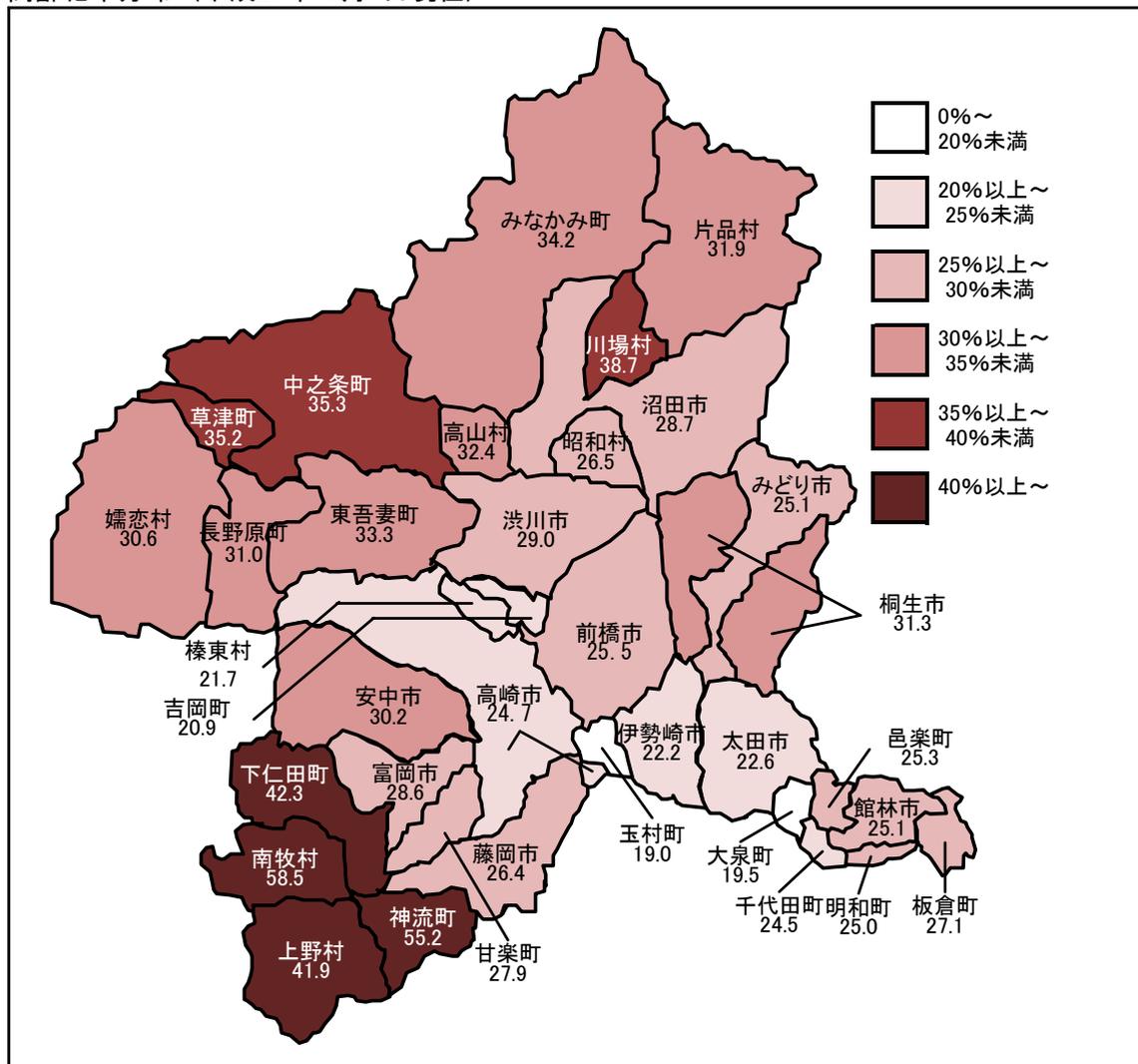
二次保健医療圏別の年齢3区分別人口（平成25年10月1日現在）

（単位：人）

二次保健医療圏	総人口	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
		人口	割合	人口	割合	人口	割合
前橋	336,450	44,065	13.1%	204,170	60.7%	85,922	25.5%
渋川	115,632	14,712	12.7%	69,807	60.4%	30,831	26.7%
伊勢崎	244,356	35,557	14.6%	154,119	63.1%	53,089	21.7%
高崎・安中	430,782	57,249	13.3%	260,402	60.4%	109,693	25.5%
藤岡	70,053	8,801	12.6%	41,772	59.6%	19,317	27.6%
富岡	74,165	8,594	11.6%	42,423	57.2%	22,892	30.9%
吾妻	58,418	6,231	10.7%	32,648	55.9%	19,503	33.4%
沼田	85,500	10,094	11.8%	48,976	57.3%	25,991	30.4%
桐生	168,330	20,327	12.1%	98,080	58.3%	49,553	29.4%
太田・館林	399,347	56,293	14.1%	248,320	62.2%	92,887	23.3%
県計	1,983,033	261,923	13.2%	1,200,717	60.5%	509,678	25.7%

〔資料〕群馬県「群馬県年齢別人口統計調査（平成25年）」  
※年齢不詳者は計のみに含めた

高齢化率分布（平成25年10月1日現在）



〔資料〕群馬県「群馬県年齢別人口統計調査（平成25年）」

## (2) 世帯構成

本県における平成22年の世帯総数は755,756世帯、1世帯当たりの人員は2.66人であり、全国平均2.46人に比べ0.2人多い状況です。<sup>注1</sup>

また、一般世帯<sup>注2</sup>は754,324世帯で、平成17年からの5年間に30,203世帯(4.2%)増加しています。このうち65歳以上の高齢親族のいる世帯数は306,398世帯で、一般世帯数の40.6%を占めており、特に高齢単身世帯<sup>注3</sup>や高齢夫婦世帯<sup>注4</sup>の割合が増加しています。

### 本県の人口と1世帯当たり人員の推移 (単位：人)

区分	人口	1世帯当たり人員
昭和35	1,578,476	4.91
40	1,605,584	4.46
45	1,658,909	4.09
50	1,756,480	3.82
55	1,848,562	3.58
60	1,921,259	3.45
平成2	1,966,265	3.26
7	2,003,540	3.08
12	2,024,852	2.91
17	2,024,135	2.75
22	2,008,068	2.66

[資料] 総務省「国勢調査」

### 二次保健医療圏別の世帯数

二次保健医療圏	世帯総数	
	一般世帯	施設等の世帯
前橋	133,322	266
渋川	40,454	159
伊勢崎	90,384	129
高崎・安中	169,300	296
藤岡	25,948	52
富岡	27,148	61
吾妻	22,726	110
沼田	32,092	41
桐生	65,024	130
太田・館林	149,358	188
県計	755,756	1,432

[資料] 総務省「国勢調査(平成22年)」

### 本県の世帯構成の推移

区分	平成17年度		平成22年度		平成22年－平成17年	
	世帯数	割合	世帯数	割合	増減	割合
高齢親族のいない世帯	449,628	62.1%	447,926	59.4%	▲ 1,702	99.6%
高齢親族のいる世帯	274,493	37.9%	306,398	40.6%	31,905	111.6%
高齢単身世帯	48,843	6.7%	62,612	8.3%	13,769	128.2%
高齢夫婦世帯	67,172	9.3%	79,589	10.6%	12,417	118.5%
その他	158,478	21.9%	164,197	21.8%	5,719	103.6%
一般世帯合計	724,121	100.0%	754,324	100.0%	30,203	104.2%

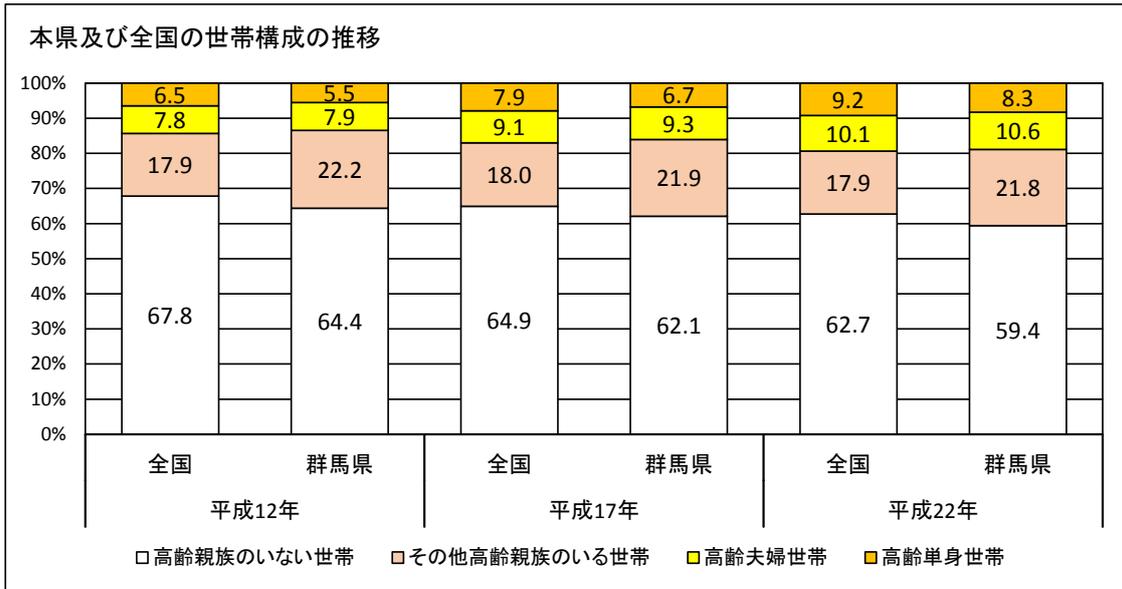
[資料] 総務省「国勢調査」

注1 総務省「国勢調査(平成22年)」

注2 住居と生計を共にしている人の集まり、一戸を構えて住んでいる単身者、間借り・下宿屋等の単身者、会社等の独身寮の単身者

注3 65歳以上の単身世帯

注4 夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦のみの世帯



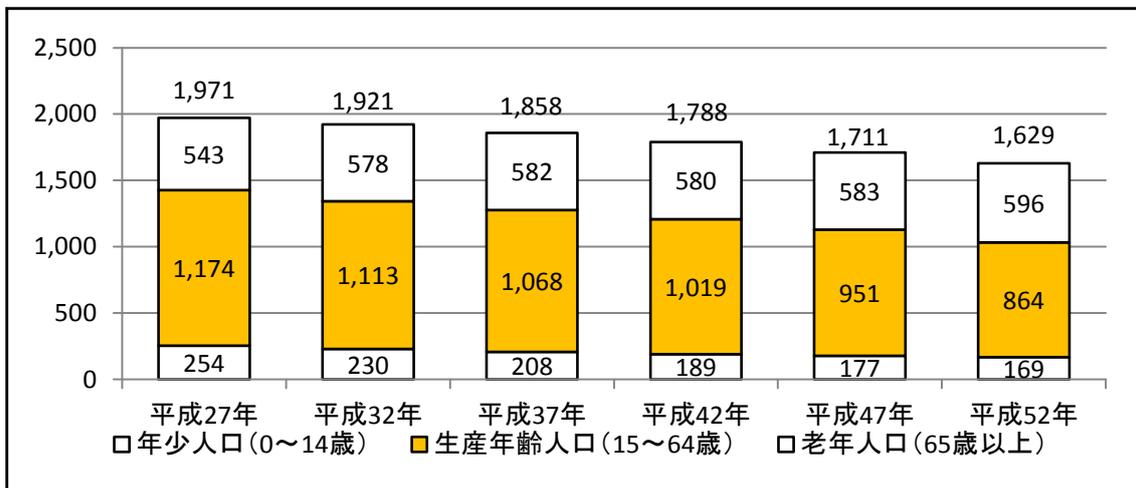
〔資料〕総務省「国勢調査」

### (3) 県全体の人口構造推移

本県の将来推計人口は、平成37年には平成25年から12.5万人減少し、約185.8万人と推計されています。総人口に占める年齢3区分別構成割合で見ると、老年人口（65歳以上）は7.2万人増加し、58.2万人（31.32%）となり、さらに高齢化が進むと見込まれています。

### 将来人口推計の推移

(単位：千人)



〔資料〕国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年）」

県総人口（年齢3区分別）＊平成27年以降は推計

（単位：人）

	群馬県計	年齢3区分別人口			構成比(%)		
		0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成 25年	1,983,033	261,923	1,200,717	509,678	13.21%	60.55%	25.70%
27年	1,971,000	254,000	1,174,000	543,000	12.89%	59.56%	27.55%
32年	1,921,000	230,000	1,113,000	578,000	11.97%	57.94%	30.09%
37年	1,858,000	208,000	1,068,000	582,000	11.19%	57.48%	31.32%
42年	1,788,000	189,000	1,019,000	580,000	10.57%	56.99%	32.44%
47年	1,711,000	177,000	951,000	583,000	10.34%	55.58%	34.07%
52年	1,629,000	169,000	864,000	596,000	10.37%	53.04%	36.59%

〔資料〕群馬県「群馬県年齢別人口統計調査（平成25年）」

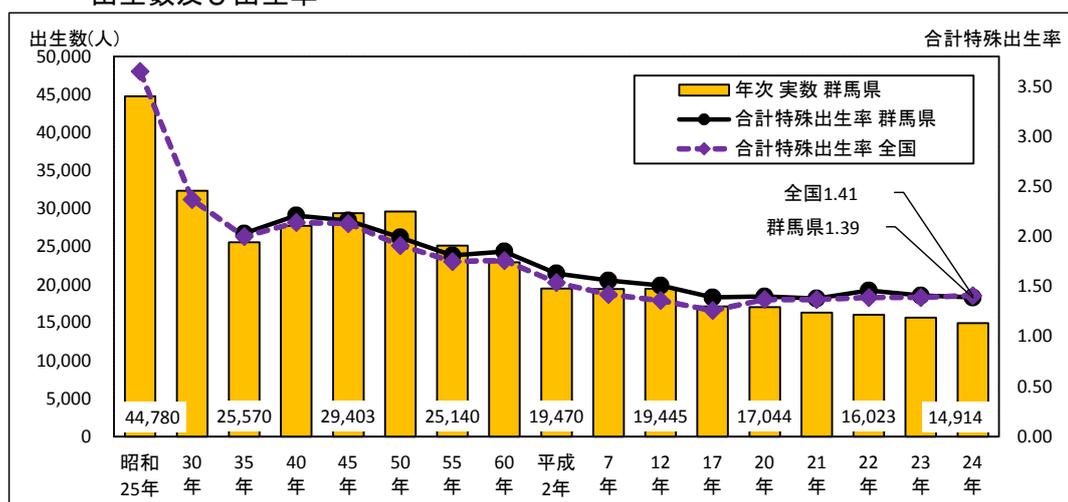
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年）」

## 第2節 人口動態

### (1) 出生

本県においても、全国的な傾向と同様に出生数の低下は続いています。一人の女性が一生に出産する子どもの数を示す合計特殊出生率も低下傾向が続いています。全国値に比べるとやや高い数値で推移してきていますが、近年その差が縮まっています。

出生数及び出生率



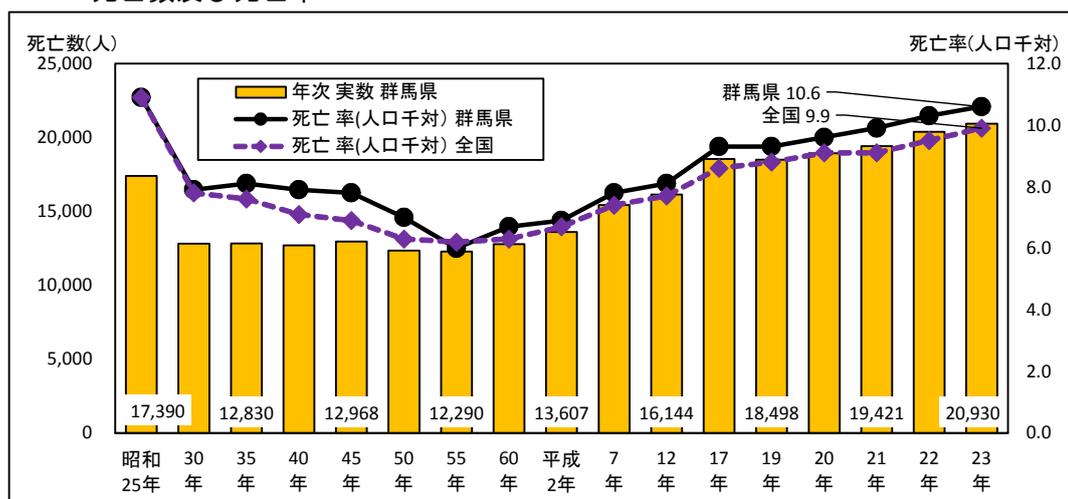
〔資料〕厚生労働省「人口動態調査」

### (2) 死亡

#### ア 死亡数

医療の進歩等に伴って死亡数は昭和50年代までおおむね減少してきましたが、その後、高齢化の進展とともに増加に転じています。また、死亡率は全国に比べるとやや高い率で推移しています。

死亡数及び死亡率



〔資料〕厚生労働省「人口動態調査」

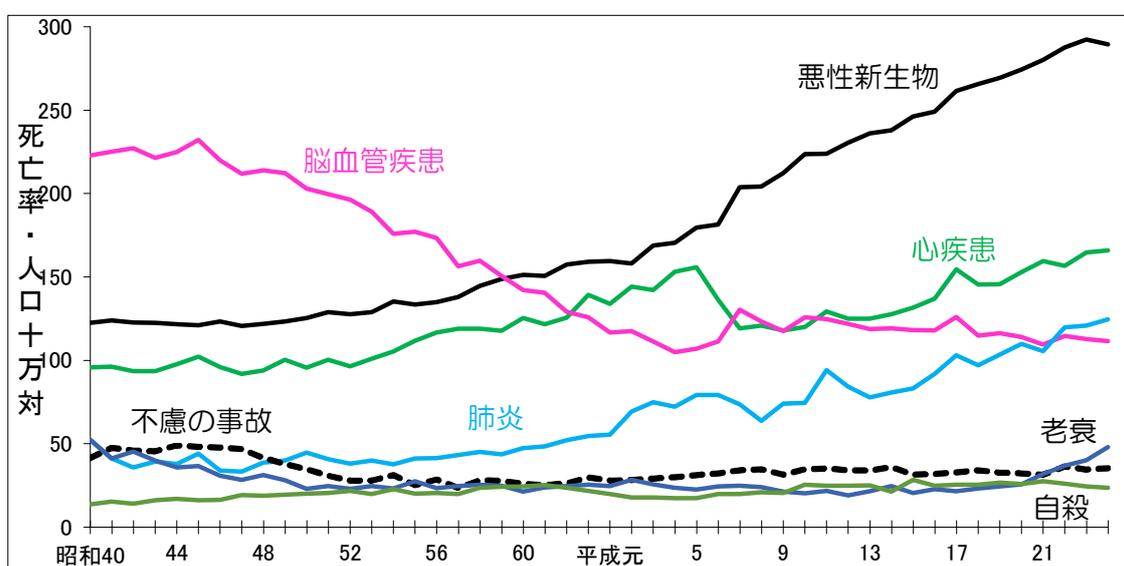
## イ 死因

本県における平成24年の死因として、第1位は悪性新生物（26.8%）、第2位は心疾患（15.4%）、第3位は肺炎（11.5%）となっており、全死亡数の53.7%を占めています。

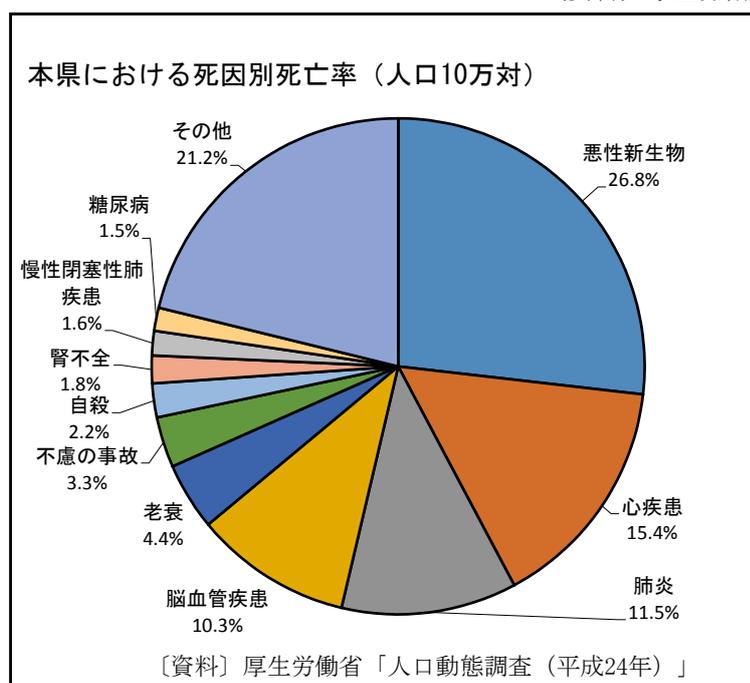
死亡率（人口10万対）の推移は、悪性新生物は昭和60年から第1位となり、年々増加しています。第2位の心疾患は、昭和63年に脳血管疾患と入れ替わって初めて第2位となり、おおむね全国と同様の動きを示しています。第3位の肺炎は、平成2年に大幅に増加し、22年に脳血管疾患と入れ替わって第3位となりました。

3大死因以外のその他の死因については、脳血管疾患、老衰、不慮の事故、自殺、腎不全、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病の順となっています。

### 死因及び死亡率



〔資料〕厚生労働省「人口動態調査」



〔資料〕厚生労働省「人口動態調査（平成24年）」

平成24年における主な死因の死亡率(人口10万対)

保健医療圏	県計	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
悪性新生物	289.5	276.1	291.1	255.1	288.1	315.3	328.8	325.2	333.5	327.4	255.7
心疾患	165.9	171.0	186.4	125.5	154.0	147.1	191.7	283.1	213.5	180.4	144.0
肺炎	124.5	112.3	123.7	124.3	116.5	118.8	126.5	232.6	165.0	133.4	105.2
脳血管疾患	111.3	100.1	97.0	87.5	107.4	103.2	198.4	141.6	145.4	127.0	101.0
老衰	47.8	43.0	19.8	24.9	44.9	77.8	119.8	72.5	43.9	71.7	41.2
不慮の事故	35.1	33.8	27.5	26.6	32.0	36.8	50.6	45.5	60.0	39.4	32.2
自殺	23.4	23.7	18.0	20.8	21.3	14.1	21.3	33.7	40.4	25.9	22.5
腎不全	19.0	16.3	18.9	18.0	16.7	21.2	13.3	13.5	20.8	31.2	19.0
慢性閉塞性肺疾患	17.6	17.8	18.9	13.1	15.5	14.1	24.0	23.6	35.8	19.4	14.2
糖尿病	16.0	14.2	20.6	12.3	13.0	38.2	21.3	21.9	12.7	14.1	16.2

〔資料〕群馬県「健康福祉統計年報（平成26年刊）」

### 第3節 県民の健康状況

#### (1) 県民の健康状況

保健医療に関する意識調査（平成25年度）<sup>注1</sup>によれば、自分の健康状態についての認識は下表のとおり、健康状態がよいと考える人の割合が減少しています。

##### 自分の健康状態について

項目	平成20年		平成25年		平成25年－平成20年	
よい	11.2%	32.8%	10.8%	31.7%	▲0.4%	▲1.0%
まあよい	21.5%		20.9%		▲0.6%	
普通	43.5%	43.5%	44.0%	44.0%	+0.5%	+0.5%
あまりよくない	17.7%	22.0%	19.9%	23.6%	+2.2%	+1.6%
よくない	4.3%		3.7%		▲0.6%	

〔資料〕群馬県「保健医療に関する意識調査」

#### (2) 生活習慣病の有病者・予備群

国民健康・栄養調査（平成24年度）、群馬県県民健康・栄養調査（平成22年度）等によれば、糖尿病・高血圧症・脂質異常症・メタボリックシンドロームの予備群及び有病者の割合は下表のとおり推定されています。高血圧症有病者及び脂質異常症（男性）は、全国値より高くなっており、特に高血圧症有病者（女性）の割合が顕著となっています。

##### 生活習慣病の有病者・予備群の状況

項目		予備群		有病者（該当者）	
		県	国(直近)	県	国(直近)
糖尿病	男性	12.9%	12.1%	10.8%	15.2%
	女性	13.7%	13.1%	5.8%	8.7%
高血圧症	男性	22.9%	—	37.1%	35.7%
	女性	14.2%	—	36.8%	25.5%
脂質異常症	男性	—	—	24.7%	24.3%
	女性	—	—	17.9%	18.9%
メタボリックシンドローム	男性	24.2%	23.6%	23.1%	24.7%
	女性	4.6%	7.7%	6.9%	9.4%

〔資料〕厚生労働省「国民健康・栄養調査(平成24年度)」  
群馬県「群馬県民健康・栄養調査(平成22年度)」

※表中の数値は、次の内容を掲載しています。

糖尿病 予備群：糖尿病の可能性を否定できない人、有病者：糖尿病が強く疑われる人

高血圧症 予備群：正常高値血圧、有病者：高血圧に区分される人（Ⅰ～Ⅲ度高血圧）

脂質異常症 有病者：脂質異常症が疑われる人

メタボリックシンドローム 予備群：メタボリックシンドロームの予備群と考えられる人、

有病者：メタボリックシンドロームが強く疑われる人

注1 調査の目的： 保健、医療及び健康に関する県民の意見・要望を把握し、保健医療施策の基本資料を得ることを目的として実施

調査地域：群馬県全域（10保健医療圏） 調査対象：満20歳以上男女個人 標本数：3,600

抽出方法：層化二段無作為抽出方式 調査方法：郵送 調査時期：平成25年12月

調査担当：群馬県医務課 回収数（率）：1,897（51.8%）

## 第4節 県民の受療状況

### (1) 県内の受療動向

#### ア 患者数

群馬県患者調査（平成24年）の結果によると、県人口<sup>注1</sup>の約1%が入院治療、約5%が外来治療を受けています。

#### 施設の種別、患者住所地別・受療の種別にみた患者数（1日当たり）

区分	総数	入院		外来	
		県内居住 (人口比)	県内居住 (人口比)	県内居住 (人口比)	県内居住 (人口比)
病院	43,497	40,357 2.0%	20,553	18,839 0.95%	22,944
一般診療所	63,980	62,277 3.1%	641	600 0.03%	63,339
歯科診療所	21,059	20,527 1.0%	—	—	21,059
合計	128,536	123,161 6.2%	21,194	19,439 0.98%	107,342

[資料] 群馬県 「群馬県患者調査（平成24年）」

#### イ 医療圏相互の受療動向<sup>注2</sup>

県内の各保健医療圏間の受療動向をみると、前橋、渋川及び藤岡の各保健医療圏では、全入院患者のうち40%以上の患者が他の保健医療圏及び県外から流入しています。前橋保健医療圏では県内全域から一定の流入があり、渋川保健医療圏では隣接する保健医療圏からの流入が多くなっています。また、藤岡、太田・館林の各保健医療圏では、県外からの流入が多くなっています。

注1 平成24年10月1日現在群馬県総人口 1,992,556人（群馬県年齢別人口統計調査（平成24年））

注2 群馬県患者調査（平成24年）（病院、一般診療所分集計）

患者流入率(総数)

受療地 住所	前橋	高崎・ 安中	渋川	藤岡	富岡	吾妻	沼田	伊勢崎	桐生	太田・ 館林
流入率	27.1%	17.0%	30.6%	33.0%	21.2%	15.4%	6.7%	20.1%	11.3%	12.6%
前橋	72.9%	4.6%	7.3%	0.4%	0.4%	1.5%	0.4%	4.4%	1.7%	0.2%
高崎・安中	7.8%	83.0%	7.0%	11.0%	16.6%	1.6%	0.4%	2.1%	0.2%	0.2%
渋川	5.5%	1.9%	69.4%	0.0%	0.2%	3.5%	1.3%	0.2%	0.1%	0.1%
藤岡	0.6%	2.5%	0.8%	67.0%	2.0%	0.1%	0.0%	0.6%	0.0%	0.1%
富岡	0.5%	1.6%	0.4%	0.8%	78.8%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%
吾妻	0.9%	0.5%	5.1%	0.0%	0.0%	84.6%	2.4%	0.1%	0.1%	0.0%
沼田	0.9%	0.4%	4.3%	0.1%	0.0%	3.0%	93.3%	0.1%	0.0%	0.0%
伊勢崎	4.4%	2.2%	1.5%	1.4%	0.2%	0.4%	0.1%	79.9%	1.8%	1.5%
桐生	2.5%	0.3%	0.5%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	3.2%	88.7%	1.9%
太田・館林	1.4%	0.3%	0.7%	0.1%	0.1%	0.3%	0.0%	5.3%	4.4%	87.4%
県外	2.5%	2.6%	2.9%	18.9%	1.6%	4.7%	1.9%	3.8%	3.0%	8.6%
不明	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

患者流入率(入院)

受療地 住所	前橋	高崎・ 安中	渋川	藤岡	富岡	吾妻	沼田	伊勢崎	桐生	太田・ 館林
流入率	42.1%	27.7%	60.5%	44.3%	30.0%	32.0%	17.1%	37.4%	19.5%	25.3%
前橋	57.9%	7.8%	12.1%	0.2%	0.7%	3.4%	0.8%	6.6%	2.5%	0.3%
高崎・安中	11.5%	72.3%	15.0%	16.0%	21.2%	3.3%	0.5%	4.5%	0.4%	0.3%
渋川	7.5%	3.0%	39.5%	0.0%	0.2%	6.6%	3.3%	0.7%	0.2%	0.1%
藤岡	1.6%	4.3%	1.8%	55.7%	4.1%	0.2%	0.0%	0.7%	0.1%	0.2%
富岡	0.9%	2.6%	0.9%	0.7%	70.0%	0.3%	0.2%	1.1%	0.1%	0.0%
吾妻	1.6%	1.0%	7.2%	0.0%	0.0%	68.0%	5.3%	0.2%	0.1%	0.0%
沼田	2.0%	1.1%	10.6%	0.1%	0.1%	7.3%	82.9%	0.2%	0.1%	0.0%
伊勢崎	5.7%	2.0%	3.8%	1.6%	0.4%	1.1%	0.1%	62.6%	2.8%	2.5%
桐生	4.5%	0.6%	1.0%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	4.2%	80.5%	3.5%
太田・館林	2.3%	0.4%	1.6%	0.1%	0.0%	0.5%	0.1%	11.1%	7.5%	74.7%
県外	4.3%	4.7%	6.5%	25.2%	3.2%	8.9%	6.5%	8.0%	5.7%	18.2%
不明	0.1%	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

患者流入率(外来)

受療地 住所	前橋	高崎・ 安中	渋川	藤岡	富岡	吾妻	沼田	伊勢崎	桐生	太田・ 館林
流入率	23.6%	14.6%	18.2%	30.4%	18.2%	5.0%	4.1%	16.1%	9.3%	10.0%
前橋	76.4%	3.8%	5.3%	0.5%	0.4%	0.3%	0.2%	3.8%	1.5%	0.2%
高崎・安中	6.9%	85.4%	3.7%	9.9%	15.0%	0.5%	0.3%	1.6%	0.1%	0.1%
渋川	5.0%	1.7%	81.8%	0.1%	0.2%	1.5%	0.9%	0.1%	0.0%	0.1%
藤岡	0.4%	2.1%	0.5%	69.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
富岡	0.4%	1.4%	0.2%	0.8%	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	0.7%	0.3%	4.3%	0.0%	0.0%	95.0%	1.7%	0.1%	0.0%	0.0%
沼田	0.7%	0.2%	1.7%	0.1%	0.0%	0.3%	95.9%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	4.1%	2.3%	0.5%	1.3%	0.1%	0.0%	0.1%	83.9%	1.6%	1.3%
桐生	2.0%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	3.0%	90.7%	1.6%
太田・館林	1.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	3.9%	3.7%	90.0%
県外	2.0%	2.1%	1.4%	17.5%	1.1%	2.1%	0.8%	2.8%	2.4%	6.6%
不明	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

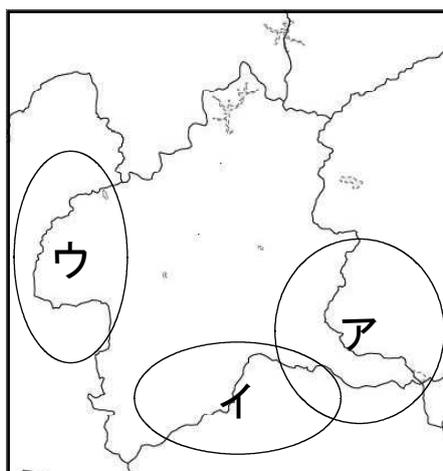
〔資料〕群馬県 「群馬県患者調査(平成24年)」

## (2) 県境地域における県外との連携

本県では、地理的条件等の関係から、県境地域において他県の住民が県内で受診したり、県内の住民が他県で受診したりするケースが多い状況にあります。他県からの患者の流入の状況を見ると、他県と接している藤岡保健医療圏では全入院患者のうち約25%が、太田・館林保健医療圏では全入院患者のうち約18%が他県からの流入患者となっています。

今後、関係各県と相互に情報共有や協議を進め、医療連携に取り組むことが課題となっており、本県では県境を越えた救急搬送に対応するために、ドクターヘリの運航や、救急搬送システムの運用に関して近隣県との広域連携を進めています。

### 県域を越えた患者の移動について



- ア 県南東部と栃木県・埼玉県・茨城県
- イ 県南部と埼玉県
- ウ 県北西部と長野県

## 第5節 医療機関の状況

### (1) 病院

本県の平成25年における病院数は131施設、人口10万当たり6.6施設となっており、全国平均（6.7施設）とほぼ同程度となっています。

病院の種別では、全病院数の90%に当たる118施設が一般病院で、13施設が精神科病院です。

### (2) 一般診療所

本県の平成25年における一般診療所数は1,555施設、人口10万当たり78.4施設となっており、全国平均（79.0施設）とほぼ同程度となっています。

### (3) 歯科診療所

本県の平成25年における歯科診療所数は976施設、人口10万当たり49.2施設となっており、全国平均（54.0施設）を下回っています。

二次保健医療圏別の医療機関の状況（平成25年10月1日現在）

二次保健医療圏	病院施設数			病院病床数						一般診療所		歯科診療所
	総数	一般病院	精神科病院	総数	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	施設数	病床数	施設数
前橋	21	19	2	4,538	3,136	402	983	9	8	345	328	195
渋川	11	8	3	2,271	1,089	155	973	50	4	78	65	45
伊勢崎	11	9	2	2,731	1,446	472	809	-	4	166	182	102
高崎・安中	32	31	1	4,524	2,603	1,023	882	10	6	374	485	227
藤岡	5	5	-	898	703	191	0	-	4	50	96	32
富岡	4	4	-	1,213	545	304	360	-	4	60	30	31
吾妻	9	8	1	1,505	784	494	223	-	4	34	59	20
沼田	7	7	-	1,019	729	286	0	-	4	59	68	36
桐生	12	11	1	2,260	1,251	639	366	-	4	136	121	102
太田・館林	19	16	3	3,760	2,307	857	590	-	6	253	142	186
県計	131	118	13	24,719	14,593	4,823	5,186	69	48	1,555	1,576	976
	6.6	5.9	0.7	1,245.7	735.4	243.1	261.3	3.5	2.4	78.4	79.4	49.2
全国	8,540	7,474	1,066	1,573,772	897,380	328,195	339,780	6,602	1,815	100,528	121,342	68,701
	6.7	5.9	0.8	1,236.3	704.9	257.9	266.9	5.2	1.4	79.0	95.3	54.0

（備考：上段は実数、下段は人口10万対）

〔資料〕厚生労働省「医療施設（動態）調査（平成25年）」

群馬県「移動人口調査（平成25年10月1日）」

### (4) 診療科目

本県の平成25年における診療科目別に見た病院及び一般診療所数（重複計上）は次のとおりです。



---

(余白)